

JAPE

幼い子ども達の未来のために…

公益社団法人 日本幼年教育会報



2017年6月 海外教育事情視察研修 in 台北 園児の水あそび (大安幼稚園)

- 2017年 JAPE 夏期幼年教育研修会 [横浜会場] 報告
基調講演概要
設置者・園長・後継者研修、教員研修 (教員免許状更新講習併設)
- 2017年 JAPE 福岡実践教育研修会報告
- 海外教育事情視察研修 in 台北報告
- 平成 30 年度地区定期研修会の予定
- 第 33 回全国幼稚園・保育園見学会案内 (三郷幼稚園/大阪府守口市)
- 2018 年春季幼年教育研修会予告

2017 10 22

No.119





造形表現と造形環境の若山育代先生

を進めていくかについて受講者同士で意見を共有しました。また、若山先生から保育環境評価スケール(ECERS)について説明いただき、ECERSに基づいて、自園での領域「表現」の保育事例を改善していくポイントについて学びました。

■ 仕事を楽しむ♪わくわくコミュニケーション

講師 藤村純子 ビジネスマナー研究所代表

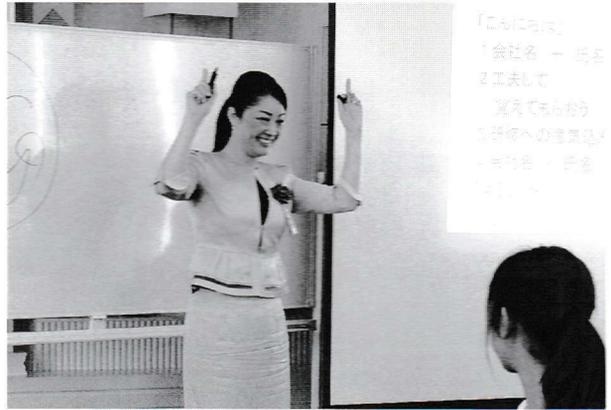
午後の第2分科会では接客戦略コンサルタントとして当会では過去何度もビジネスマナーなどの講義を担当いただいている藤村純子先生による実践研修が行われました。

4名程のグループに分かれて着席し、冒頭、自分を覚えてもらうための楽しい自己紹介をグループごとに行いました。

コミュニケーション上手な先生になるためには表情と聞く姿勢が大切。笑顔で、話している人に対して体を正面に向け、頷いたり、共感の態度を示すことで相手が話しやすく感じるようになること。また、途中で相手の話を取らないことも大切とお話されました。

コミュニケーションとは感情の共有と情報の伝達であり、チームとして機能して働くためには、感情を理解してあげる力が求められる。相手の気持ちによりそってあげるためには、感性を磨くことがとても重要である。また、情報の伝達には正確に情報を発信し、受信者が正しく受け取るという両者が噛み合う正確さが大切と話されました。

参加者はグループ内で聞き役と話し役に分かれ、実践を繰り返しながら学びを深めました。



わくわくコミュニケーションの藤村純子先生

まとめでは、コミュニケーション上手になるためには、まず相手に興味を持ち共通点を探し、それを話題にして話を広げていく。相手の話したいことを十分に話させてあげる、を意識して上手な聞き役になることとお話されました。

■ 3歳児の思考を育てるはじめてのあそび

講師 小林まき子 当会研究部講師

小林先生には、午前中の第3分科会に続いて、教材「スタートシリーズ」の活用研修を担当いただきました。スタートシリーズの基本的な指導方法だけでなく、応用方法などを学びます。実際に教材と触れ合う時間もあったことで、子ども達ならこんな時どういう行動をとるのだろうか、どういう操作をするのだろうか、という様に、子ども達の立場になって物事を考える時間にもなったのではないのでしょうか。会場内も終始和やかな雰囲気、笑顔の絶えない研修会となりました。



教材活用2講座目スタートシリーズの小林まき子先生